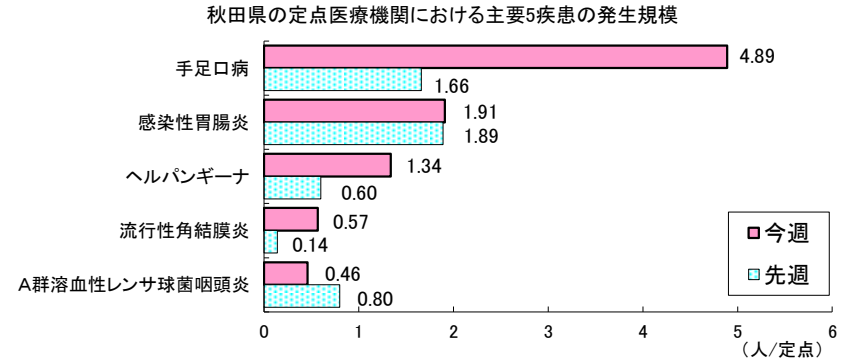




【第30週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- 手足口病は、県全体で2.9倍に増加しています。保健所別では、全ての保健所で増加しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体でほぼ同規模です。保健所別では、大館、北秋田、秋田中央、大仙、横手で増加、湯沢で同規模、秋田市、能代、由利本荘で減少しています。
- ヘルパンギーナは、県全体で2.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、秋田中央、大仙、横手、湯沢で増加、由利本荘で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減			
RSウイルス感染症	0.09	0.11	↗	0.14	0.29	↗							0.67		↘		0.50	↗												
インフルエンザ	0.02		↘							0.33		↘																		
咽頭結膜熱	0.20	0.11	↘	0.29	0.29											0.25	0.25			0.25	↗	0.50		↘			0.50	↘		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.80	0.46	↘	0.43	0.57	↗	0.25	0.25					0.33		↘	1.75	1.50	↘	0.25	0.25		2.00	0.75	↘			1.75	0.25	↘	
感染性胃腸炎	1.89	1.91	↗	3.71	2.43	↘	1.25	1.75	↗	1.00	2.00	↗	3.33	3.00	↘	1.50	3.25	↗	0.50		↘	1.75	2.00	↗	1.00	1.33	↗	1.25	1.25	
水痘	0.11	0.20	↗	0.14		↘		0.75	↗	0.50	1.50	↗				0.50	0.25	↘												
手足口病	1.66	4.89	↗	3.57	10.86	↗	3.25	7.50	↗	1.50	2.50	↗	2.33	3.33	↗	0.75	2.25	↗	0.25	3.75	↗	0.50	2.75	↗	1.00	4.33	↗	0.25	0.50	↗
伝染性紅斑	0.20	0.14	↘	0.71	0.43	↘	0.25	0.50	↗															0.33		↘				
突発性発しん	0.17	0.31	↗	0.29	0.43	↗					1.50	↗	0.67	0.67					0.50	0.25	↘		0.25	↗				0.25	↗	
ヘルパンギーナ	0.60	1.34	↗	1.43	3.14	↗							0.67	2.67	↗		0.25	↗	1.25	1.00	↘	0.75	1.00	↗	0.33	2.00	↗		0.25	↗
流行性耳下腺炎																														
川崎病	0.06	0.03	↘																	0.25	↗				0.33		↘	0.25		↘
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.57	↗	0.33	1.33	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎	0.13	0.13														*	*		1.00	1.00										
無菌性髄膜炎																														
マイコプラズマ肺炎	0.13	0.13		1.00		↘										*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.50		↘													*	*					3.00		↘	1.00		↘			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が横手保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
 ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、北秋田保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から3人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-29週	30週	
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	11725	56	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	3		
	細菌性赤痢	54	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	1460	11	1
	腸チフス	19		
	バラチフス	11		
四類	E型肝炎	302	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	260	7	
	エキノкокクス症	10		
	黄熱			
	オウム病	11		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	1		
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	56		

類型	疾患名	(人)		
		1週-29週	30週	
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	10		
	つつが虫病	81	5	
	デング熱	176		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	94		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	25		
	野兎病			
	ライム病	5		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	1066	10		
レプトスピラ症	5			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	478	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	178		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1080	9	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	44		
	急性脳炎	540	4	
	クリプトスポリジウム症	8		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	100		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	530	3	
	後天性免疫不全症候群	640		
	ジアルジア症	25		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	338	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	27		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2125	12	
	水痘(入院例に限る)	271	7	
	先天性風しん症候群	3		
	梅毒	3651	10	2
	播種性クリプトкокクス症	83		
破傷風	67	2		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	45			
百日咳	9381	106	4	
風しん	2004	3		
麻しん	662			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	17			

トピック

<百日咳に注意しましょう>

6月以降、秋田県では百日咳の患者報告数が増加傾向にあります。第30週までの患者報告数はすでに100人を超え、昨年の年間報告数(132人)に迫っています(図)。百日咳の原因となる百日咳菌は感染力が強いため、学校などの集団生活をする場では容易に感染が広がります。今後の流行状況に注意し、感染予防に努めましょう。

■症状

感染してから通常5~10日間の後、かぜ様の症状が現れ、1~2週間かけて次第に咳が激しくなります。典型的な症状では、顔を真っ赤にして「コンコン」と激しく咳込み、息を吸うときに「ヒュー」という音が出ます。症状は少しずつ改善していきますが、回復まで数ヵ月かかることがあります。

生後1歳未満の乳児が百日咳にかかると重症となり、特に新生児では咳によって呼吸ができず、命に関わることもあります。一方、小学生以上になると比較的軽症なことが多く、知らないうちに周囲に感染を拡げてしまう可能性があります。

■予防対策

- 重症化しやすい乳児を百日咳から守るため、生後3ヵ月になったら早めにワクチン接種を受けましょう。
- 手洗い、マスクの着用や咳エチケット(とっさの咳やくしゃみは、手ではなく袖や衣服の内側でカバーする)などの予防対策を徹底し、咳が長引く場合は、早めに受診するようにしましょう。
- 適切な抗菌薬の治療により、服薬開始から5日後には、菌の排出はほぼなくなると考えられています。医師の指示に従い、処方された期間はしっかりと服薬しましょう。

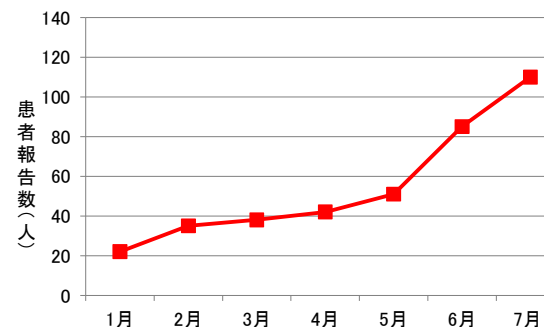


図 秋田県における百日咳の累積患者報告数の推移(2019年)

感染症の集団発生報告

手足口病の集団発生報告が3件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
鹿角市	八幡平なかよしセンター	7/22	62名のうち 14名	21名のうち 0名	14名	7/12 ~ 7/22	発熱、発疹
横手市	明照保育園	7/22	113名のうち 11名	32名のうち 0名	11名	7/19 ~ 7/22	発熱、発疹、口下の痛み、食欲低下
男鹿市	船川保育園	7/23	97名のうち 10名	29名のうち 0名	10名	7/11 ~ 7/22	発熱、発疹



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	北秋田(1.50)	-
手足口病	-	秋田市(10.86)、大館(7.50)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			警報			
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患	注意報 基準値(人/定点)	警報 開始基準値(人/定点)	警報 継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		